



高齢者の方々がいつまでも自分らしく生き生きと生活することを応援する『くらしのサポートセンターえきまえ』様より、当施設に高齢でも楽しめる活動を教えてほしいとの依頼があり、普段から行なっているリハビリ体操と一緒に楽しむことにしました。

令和4年9月30日、援助員さんが集まるレクリエーション交流会にリハビリ担当の廣川作業療法士がお伺いしました。

いつもと違う雰囲気緊張していたようですが、時間の経過につれて、ペースを取り戻し、音楽に合わせてリズムカルにリハビリ体操を行うことができました。

廣川作業療法士からは、「バランス低下した方のほとんどが首を横に向ける際に顎があがります。首の筋肉を緩めることで、バランス機能に加え、リラクゼーションにもつながります」とアドバイス。

参加した援助員さんからは、「体操だけでなくその効果も分かりやすく教えてもらった。」、「頂いたCD リハビリ体操をします。」などの声をいただきました。

当施設でも新型コロナウイルス感染症により、地域の方々との交流が難しくなっていますが、地域との関わりを常に大切に考えていきたいと思えます。同時に、地域の皆様とともに活動をすることで、職員自身が、福祉専門職として「やりがい」を感じてもらえたらと願っています。

この度、貴重な機会をいただいた「柏崎市くらしのサポートセンターえきまえ」様には、深く感謝申し上げます。

（なごみ施設長 高瀬 謙一）



社会福祉法人 柏崎特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム

なごみ荘

☎0257-24-4300

